

上尾 歴史散歩

244 上尾の古い地名をこう

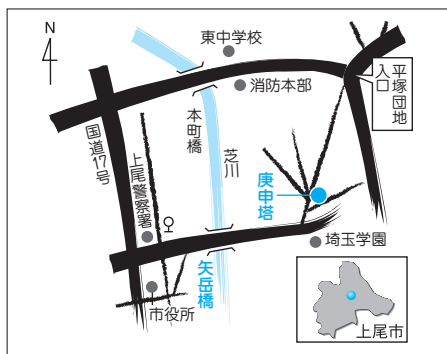
■上尾村・向原地区を歩く

「ぐるっとくん」を「上尾警察署東」で下車し、少々南下して東西の大通りを左折する。この区域は区画整理された地域なので、古くからの道路の面影は全く見られないが、東上して上尾村・向原地区を目指してみる。左折してから四百五十メートルも東上すると、道は下りとなり芝川の「矢岳橋」と出合う。この辺りの道路はかつては曲折があり、「七曲り」とも俗称されたという。橋を渡り東上した地域が向原地区、左手の奥が上尾村小字吉田である。右手奥には埼玉学園が所在するが、この辺りから東方にかけては古くは上尾宿地番である。元文二（一七三七）年の「上尾宿書上」によると、上尾宿は新田を持っているが、この地域がその新田に当たるとみられる（『上尾市史第三巻』）。



住宅地に立つ庚申塔。左側面に道案内が刻まれている。

も歩くと、道は緩いカーブとなり左折するが、五十メートルも進むと道は二つに分岐する。分岐点から左の細い道路を東北に向かい、五百五十メートルほど歩くと平塚団地入り口の変則五差路となる。この細い道路の住宅地の右手に、一基の庚申塔を見ることが出来る。これは明和六（一七六九）年向原・吉田村講中の建立で、左側面には「右あげお道・左せうぶ道」の道案内が刻まれている。この庚申塔が示すように、江戸時代から「せうぶ道」として盛んに利用されてきた道であったとみられる（『上尾市地形図』）。



平塚団地入り口の交差点付近は、工業団地、住宅地、商店、倉庫群が密集しており、かつて広大な山林地帯であった面影は希薄になっている。現在のこの交差点には西南方向からの広い道路も交差しており、この道路は芝川の本町橋を渡り、東中学校前・市消防本部北側を通る新しい道である。この道路の本町橋を渡ってからの地域が、上尾村小字吉田で、上尾村の東北端に位置し、旧菅谷・上平塚村に接している。この交差点から北方の上平塚村を経て菖蒲町に達する道もこの交差点が分岐点であるが、現在では広い道路が東方へ造成され、原市・菖蒲間道路に達している（前掲書）。

（三埼玉県立博物館長・黒須茂）

わくわくクイズ

○に入る文字や数字を当ててください。

各家庭でも昨年の○○%の節電が求められています

(ヒントは2ページ)

【賞品】 正解者の中から抽選で5人に、粗品を差し上げます。

【応募方法】 はがきかメールにクイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、『広報あげお』の感想を記入して、7月21日(木)まで(必着)に上尾市広報課「わくわくクイズ係」へ。

あて先：〒362-8501本町3-1-1
メールアドレス：s55000@city.ageo.lg.jp

【発表】 賞品の発送をもって発表に代えさせていただきます。 ※正解は8月号のこのコーナーで。前号の答えは「メール」でした。ご応募ありがとうございます(応募者36人)。

市の人口・世帯

(平成23年6月1日現在)

22万7,271人

男/11万3,589人
女/11万3,682人

※前月より59人増。

9万2,805世帯

◆「広報あげお」は、各支所・出張所、JR上尾駅・北上尾駅のほか市内の各公共施設、金融機関などに置いてあり、自由に持ち帰れます。

◆環境保全のため、市内の公共施設へのお出掛けは市内循環バス「ぐるっとくん」をご利用ください。